

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	AIAI NURSERY 高砂
施設所在地	葛飾区高砂2-31-5
法人名	AIAI Child Care 株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

世界

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など) 多国籍の園児が在籍している特性を活かし【世界】をテーマに設定する。 英語プログラムや園児同士の会話を通して興味関心を持っている姿が見られることから、世界の国々についての興味関心を深め互いの理解を深める為。

2. 活動スケジュール

英語プログラムkokoro lingua の中で発せられる子どもの発言ややり取りの中から興味関心を引き出し、保育内容に取り入れていく。 子どもたちの疑問に沿って地球儀や世界地図、図鑑等遊びの中から世界への興味が探求できるよう環境を設定し、そこで発せられた子どもたちからの疑問や気づきについて保育者同士で共有、振り返りを行う。世界の料理についてグループで調べ、食育を兼ねて実際に料理をする。調理前に使用する食材をグループ単位で買い物に行き、地域交流にも繋げていった。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具) 英語動画教材kokoro lingua 地球儀・世界地図・世界の図巻・世界地図パズル・絵カードを自由に使えるよう設定。 野菜・トルティーヤ生地・チーズ 紙皿・エプロン・三角巾・マスク・パネル
--

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

kokoro lingua

地球儀を触ってみよう

気になる国を調べてみよう

世界の料理を作ってみよう

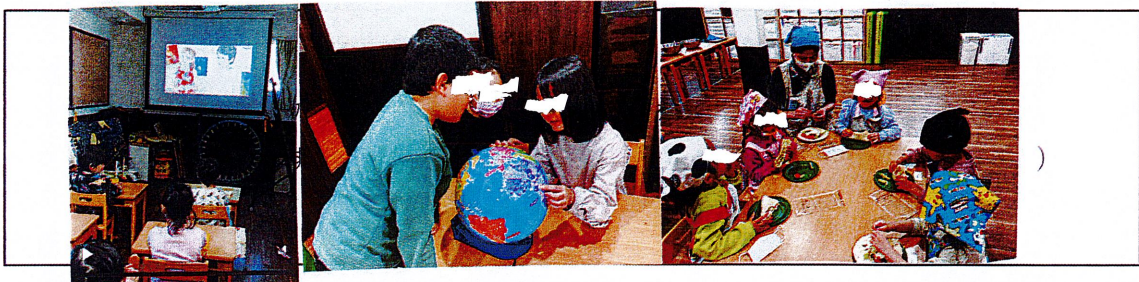
食材の買い出し

クッキング

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

kokoro linguaから「色々な肌の色や目の色のお友だちがいるね。」「どんな遊びをしているんだろう?」「朝ごはん僕たちと違うね」の問いに対して調べられる環境を設定。地球儀や図鑑を友だちと見ながら、「〇〇くんの国はどこだね」「日本は小さいね～」と会話をしながら見ていた。保育者は遊びの中で繰り広げられる会話ややりとりを拾い上げられるよう見守りながら声掛けを行った。食事に対しての興味関心から調理職員とも共有、連携し食育クッキングに繋げた。メキシコ料理の場面ではトウモロコシを原料にした食べ物が多いことを知り、驚きや歓声をあげていた。実際に作ったトルティーヤを食べながら、おうちでも作ってみたい。他の国の料理も作ってみたいと興味を深めていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちの何気ない問いを拾って広げていくことで子どもたちの興味関心から探求心を深めていく大切さを感じた。広げていくことで予想もしなかった方向へ導いてくれることを知ることができた。世界について調べるだけでなく、深めていくことで、より親近感がわいたり、さらに違った問いが生まれ理解が深まった。小さな気づきから探求を通してより一人一人の成長を実感することができた。すくわくをきっかけに保育から調理へ繋げることもでき、より園全体の連携・共有に繋がった。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	AIAI NURSERY 高砂
施設所在地	葛飾区高砂2-31-5
法人名	AIAI Child Care 株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

製作を通して取り入れている絵具やクレヨンに対する興味を持つ姿が見られるため【色】をテーマとして設定する。散歩や公園遊びを通して自然界の色についての興味関心をさらに深める為

2. 活動スケジュール

絵具に触れてみる。ボディペインティングを通して、感触を味わうとともに色の混ざり方や変化にも気づく。

野菜に触れたり、見たりしながら自然界の色に気づく。

小松菜の栽培、芋ほりを通して食材の色に興味を持つ。

毛糸染めを通して色の変化にも気づく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

クレヨン・絵具・画用紙・折り紙を自由に使えるよう環境を設定。

栽培用：プランター・土・種

お芋ほり遠足：バスの手配、加配職員配置

染色：鍋、毛糸

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

クレヨンや絵具、折り紙を使う製作を通して、色への興味関心を高める。
ボディペインティングを通して絵具の感触を楽しみながら色の変化や混ざり具合、発色を楽しむ。
芋ほり遠足を通して、土の色や野菜の色や形を知る
掘ってきた芋をクッキングで料理、皮と中身の色の違いに気づく
栽培した小松菜を収穫
収穫した小松菜を使って毛糸を染色する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

製作や遊びを通して色に興味を持てるよう声掛けをしながら遊びを促していった。徐々に「あか〜」「あお〜」と色への認識が高まっていった。散歩途中で木の実や落ち葉をみつけてその色に気づけるように声をかけながら見守っていった。お芋ほりでは素手で掘ると手につく緑や芋の紫色がつきなかなか落ちないことを知り驚いていた。土の中から紫の芋がでてきたときには大きな歓声をあげていた。掘ってきたお芋でスイートポテトを作る際には芋の中身の色の違いや調理した後の色の変化に気づき興味津々で観察していた。小松菜の染め色では思っていたようには染まらなかったが、食材で色を染めることができることを知り、他にも染めることができる植物や食材がないか調べようとする姿も見られた



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

日々の生活の中から色に興味を示すしぐさがみられた際に○色だね〜と声をかけていくと徐々に子どもたちの方から「あか〜」と発言する様子があった。色への興味を製作物だけではなく、自然界の植物に繋がられるよう公園で落ち葉を拾ったり、実をみつけたり探求を重ねた。お芋ほりや栽培収穫を通して食育に繋がっていたが、子どもたちからのお芋は紫なのに食べる時は黄色だねの声を拾い変化を実感できるよう取り組んでいった。また色への興味を深める為染色に繋げていくことができた。探求することによって今まで取り入れてこなかった活動に発展させることができた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	AIAI NURSERY 高砂
施設所在地	葛飾区高砂2-31-5
法人名	AIAI Child Care 株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

形

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

散歩中にある草花など色々な形でできていることに興味を持つ姿があり【形】をテーマと設定した。自然界や生活の中にある形について興味関心を深める為

2. 活動スケジュール

日々の保育の中で図形パズルやブロック遊びを楽しむ。遊びの中から三角や四角や丸を重ねたり合わせたりすることで色々な形ができることに気づく。

普段利用している公園内や自然の中にも形があることに気づく。

落ち葉や枝を使って物体の形を作ったり、図形パズルで虫や花の形を作ったりすることで様々な形が繋がっていることを知る。

創作を通して想像力を高めていく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

ブロックや折り紙、図形パズルを自由に使えるよう環境を設定。

公園での落ち葉拾いをしやすくする為にお散歩バックを作る。

色画用紙にのせたりはったりできるようなのりやはさみを準備する。

大型ブロックやつみきやカプラ様々な玩具を用意し友だちと共同しながら遊びに没頭できるよう環境を設定する。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

ブロックや図形パズルを使って様々な形を見て、触ってみる。

形を組み合わせるとまた違った形が作れることを伝える。友だち同士で作った物を共有することで色々なアイデアがあることに気づく。

自然の中にも形があり、落ち葉など自然のものを使って形を作る。

大型ブロック等を使ってと友だちと共同して大きな作品を作る。その過程で何を作るか等子どもたちで話し合いながら取り組む。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

図形パズルを使って好きな形を作ってみようという提案すると、パズルを傾けたり重ねたりしながら自然界にある虫や花を作る姿がみられた。

散歩中や公園で「丸い石だね」「はっぱはなんの形かな」を形に関する発言が聞こえるようになった。

遊びを通して形を組み合わせることで様々な形が作れた時にはその発想を認め、想像力が広げられるよう見守りながら声をかけていった。

友だちと共同する楽しさが伝わるよう大きなものの素材のブロックや廃材を自由に使えるようにすると「これはこの形になるよ」と教え合ったり話し合う姿が見られた



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

単純な形を組み合わせることで様々な物体に見立てることができることに気づいた時の子どもたちのひらめいた！という表情が印象的だった。一人遊びでの製作から大きいものを作るには共同する仲間が必要という気づきにも繋がり、制作をとおして友だちとの協同性を養い話し合いを通じて相手の立場や考えを聞く、自分の思いを使える経験できた。想像力と協同性が養える活動に繋がったことに気づくことができた。